

令和2年10月14日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 第2回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞） 受賞者の決定と表彰式開催について

JST（理事長 濱口 道成）は、第2回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）の受賞者を決定しました（別紙1）。表彰式は、令和2年11月15日（日）に日本科学未来館で開催します。

JSTはダイバーシティを推進する取り組みの1つとして、女性研究者の活躍を推進しています。日本では研究者に占める女性の割合がいまだに低く、研究開発プログラムなどへの女性研究者の参画も少ない状況にあります。そこで昨年度、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者、および女性研究者の活躍を推進している機関を表彰する輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）を創設しました。

第2回となる本年度は令和2年4月1日から6月30日までの期間に募集し、輝く女性研究者賞（女性研究者）に78件、輝く女性研究者活躍推進賞（機関）に12件の応募がありました。外部有識者からなる選考委員会による審査を経て（別紙2）、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）1人、輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）1機関の受賞者を決定しました。

また、同選考委員会において輝く女性研究者賞に匹敵すると評価できる応募者がいたことから、輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）1人の受賞者を決定しました。

表彰式では、JSTから各受賞者に賞状と賞牌を授与するほか、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者には副賞として芦田基金<sup>※</sup>から賞金100万円が贈られます。また、受賞者による、高校生を中心とした次世代とのトークセッションも行います。

### <第2回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）表彰式>

日時：令和2年11月15日（日）午後1時00分～午後3時00分

表彰式は、サイエンスアゴラ2020の一企画としてライブ配信する予定です。視聴の事前申し込みは、下記ホームページを参照してください。

URL：<https://www.jst.go.jp/diversity/about/award/ceremony2020.html>

※）芦田基金は、1994年にデザイナーの故 芦田 淳 氏から青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター（JISTEC）に寄附され、JISTECが運用している基金です。

<添付資料>

別紙1：第2回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

別紙2：輝く女性研究者賞選考委員会 委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部 ダイバーシティ推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

藤井 浩人（フジイ ヒロト）

Tel : 03-5214-8443 Fax : 03-5214-8088

E-mail : diversity[at]jst.go.jp

## 第2回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

（敬称略）

## ○輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。副賞として芦田基金から賞金100万円を贈呈。

坂井 南美 理化学研究所 開拓研究本部 坂井星・惑星形成研究室 主任研究員

## ＜専門分野＞

天文学

## ＜経歴＞

2017年～現在	理化学研究所 主任研究員
2015年～2017年	理化学研究所 准主任研究員
2008年～2015年	東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻 助教
2007年～2008年	日本学術振興会 特別研究員（DC2）

## ＜受賞理由＞

坂井氏は、天文学と化学を融合した新たな分野の開拓により「太陽系のような環境は宇宙でどれほど普遍的に存在するのか」という天文学の根源的な問題に切り込み、多様な太陽系外惑星系の起源や、惑星系形成の解明につながる革新的な成果を挙げている。

研究以外の社会貢献においても、講演、展示などのアウトリーチ活動のほか、女性研究者リーダーシップ開発プログラム講師など、女性活躍推進への貢献、後進育成について努力を惜しまず活動している。

## ○輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。

国立大学法人 群馬大学（学長 平塚 浩士）

## ＜受賞理由＞

群馬大学は、2014年度より理工学府の女性限定公募制度、また2019年度より医学系女性研究者の「上位職ポストアップシステム」など地道な支援を展開し、その結果、理工学府大学院博士後期課程の女性比率、全学の女性教員比率がともに増加している。

また、女性研究者への大学独自の研究費助成について、支援を受ける以前および翌年度の公的研究費助成への採択率に関する分析から、支援継続の効果を実証した。これにより、同制度の意義を裏付けるとともに女性研究者の研究力に関する無意識のバイアスを是正する活動を展開している。

○輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。

星野 歩子 東京工業大学 生命理工学院 准教授

<専門分野>

分子生物学

<経歴>

2020年～現在	東京工業大学 生命理工学院 准教授
2019年～現在	コーネル大学 医学部 小児科 Adjunct Assistant Professor / JST さきがけ研究者
2019年～2020年	東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構 講師 / 東京大学 卓越研究員
2016年～2019年	コーネル大学医学部小児科 Instructor
2015年～2018年	Susan G. Komen Postdoctoral Fellowship
2015年～2016年	コーネル大学 医学部 小児科 Research Associate
2013年～2015年	日本学術振興会 海外特別研究員（RRA）
2011年～2015年	コーネル大学 医学部 小児科 Postdoctoral Associate
2010年～2011年	コーネル大学 医学部 小児科 Visiting Graduate Student
2009年～2011年	日本学術振興会 特別研究員（DC2）

<受賞理由>

星野氏は、がん細胞が放出するエクソソーム（細胞外小胞）が、転移先の環境を組織特異的に準備するメカニズムに関与することを世界で初めて明らかにし、がん転移に関する診断や治療につながる革新的な成果を挙げている。

研究以外の社会貢献においても、計8年半の海外研究経験から、国境をまたいだ学生の受け入れを通じて世界で活躍できる研究者の育成に尽力している。

## 輝く女性研究者賞選考委員会 委員一覧

(敬称略、委員は五十音順)

## (委員長)

鳥居 啓子	テキサス大学オースティン校 ジョンソン・エンド・ジョンソン センテニアル冠教授、ハワードヒューズ医学研究所 正研究員
-------	--

## (委員)

浅川 智恵子	IBMワトソン研究所 IBMフェロー
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人 取締役会長
大草 芳江	特定非営利活動法人 natural science 理事、有限会社FIELD AND NETWORK 取締役
北川 宏	京都大学 大学院理学研究科 教授
所 千晴	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授
村山 斉	カリフォルニア大学バークレー校 MacAdams冠教授、東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 主任研究者／教授
柳沢 正史	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長

(令和2年10月14日現在)